

イベント概要

国内唯一のDITA総合セミナーとして13回目を迎える**DITA Festa2016**ですが、今回のテーマは「**DITAを識る、DITAを究める**」

国内においてもDITAは着実に普及、浸透してきており、その利用法もDITAの特長をとことん究めたものから、こだわりなく簡易的に応用したもので、ユーザー各社で様々な工夫が凝らされています。今回はそうした国内外の事例を2日目(12月8日)に集約してご紹介いたします。

一方、これからDITAを学び、その製品サービスにどんなものがあるかを知りたい、という方々も増えています。

そうした方々のために初日(12月7日)には「DITA入門講義」、そして3日目(12月9日)には「DITAソリューション駆伝」を用意しています。また会場にブースを構え会員企業の製品サービスを出展します。実際のデモや詳細説明を直接受け取ることができます。

今回も講演内容をリアルタイムにウェビナーで配信します。会場に来られない方もインターネット経由で聴講が可能です(是非ご利用ください(ウェビナー聴講希望の方も受講申込をお願いします))。

今回も受講は無料となっております。皆様のご参加をお待ちしております。



会員出展ブース紹介

アンテナハウス株式会社

弊社はDITA関連開発において10年の経験と実績があり、DITAコンサルで屈指のComtech社とパートナー契約を結んでいます。ブースでは開発担当者自らお客様の課題をお聞かせします。どのようなことでもご相談ください。

インフォグリーン株式会社

過去20年に及ぶ文書管理システムの開発経験を活かした開発されたDITA-CCMS「Dante」DITA専用のCCMSとして、数少ない純国産製品であり、国内ユーザー様の声を最優先に開発に反映して参ります。

ナレッジオンデマンド株式会社

弊社では、開発者(SME)にDITAを執筆いただくためのWebブラウザベースのDITAエディター「Smart.DITA」を開発しています。DITA1.2の要素(属性の入力含め)をほぼ網羅したOxygenと組み合わせた実用的な運用についてご紹介いたします。

株式会社ヒューマンサイエンス

DITAにおける幅広いソリューションをご紹介いたします。導入に向けたマニュアル評価・分析、構造設計、トピックライティング支援。マルチユース化。ニーズに合わせた最適なサービスを制作会社ならではの視点で提供します。

IXIASOFT Technologies inc.

IXIASOFTのブースでは、ARM社も利用しているDITA CMSの紹介に加え、今世界で最も注目を浴びているダイナミックパブリッシングをご紹介しております。是非ともIXIASOFTのブースにお立ち寄り下さい。

株式会社中央図研

事業の競争力強化には技術情報作成/管理/配信の仕組が有効です。事業に新たな利益をもたらす情報管理の新しい形を展示いたします。DITA未導入の企業様はもちろん、導入済企業様にも価値を提供いたします。

ネクストソリューション株式会社

CMS、オーサリング、パブリッシング、全ての機能をひとつにまとめたオールインワン設計。約款・規約・規定集作成に特化した「NEXTDarwin」の新機能をご覧ください。その他マニュアル作成全般へのご相談もお待ちしております。

PFUテクニカルコミュニケーションズ株式会社

弊社では、マニュアル制作にDITAを導入し、執筆から翻訳までの効率化・品質向上を実現してきました。導入コストを抑えたスタートのための制作環境を紹介いたします。スタートをお考えの方はお立ち寄りください。

DITAコンソーシアムジャパン 会員企業一覧



DITAコンソーシアムジャパン会員は、日本におけるDITAの研究と啓蒙普及を推進しています。

理事会員

アンテナハウス / 富士ゼロックス / アートダーウィン / 日本電気

一般会員

日本アイ・ビー・エム / SDLジャパン / ヒューリンクス / 丸星 / ネクストソリューション / YAMAGATA INTECH / イデア・インスティテュート / 横河電機 / ダイテック / ナビックス / NECマネジメントパートナー / クレステック / ヒューマンサイエンス / PFUテクニカルコミュニケーションズ / インフォグリーン / サン・フレア / 中央図研 / 情報システムエンジニアリング / シイエム・シー / ナレッジオンデマンド / IXIASOFT Technologies / アクロリンクス / 広芸インテック / 石田大成社

学術会員

公立はこだて未来大学

会場アクセス

富士ゼロックス株式会社 本社 (東京ミッドタウン内)

東京都港区赤坂九丁目7番3号

東京メトロ

- 大江戸線「六本木」駅地上出口より徒歩1分
- 日比谷線「六本木」駅地上出口より徒歩3分
- 千代田線「乃木坂」駅地上出口より徒歩3分



DITA Festa 2016

文書制作のグローバル・スタンダード DITA専門イベント

12/7 水
~12/9 金

12/7 水 13:00-17:45

12/8 木 10:30-17:45

12/9 金 13:00-17:45

(各日30分前より受付開始)

入場
FREE!!

事前登録制となっています。
DITAコンソーシアムジャパン
公式サイト【受講申込】から
エントリーをお願いします。

会場

東京ミッドタウン
富士ゼロックス株式会社 (本社)

主催

DITAコンソーシアムジャパン



DITAFesta2016 公式サイト http://dita-jp.org/?page_id=1945

イベントの詳細や参加申し込み方法については、
DITAコンソーシアムジャパンの公式サイトにてご確認ください。

DITA Festa 2016 東京

セッション

各セッションは予告無しに時間/内容の変更や中止が生じる場合があります。

あたらめてDITAを識る日

12月7日(水)	13:00-13:10	開催に先立ちまして	DITAコンソーシアムジャパン 事務局長 加藤 哲義
	13:10-14:00	基調講演 DITAで何が変わったか ~ブラザーのDITA導入経緯と効果実績~	<p>ブラザー工業では、2010年よりプリンタ・複合機のマニュアルにおいて、DITA/CMSの導入検討を開始し、2012年からDITA/CMSを利用した制作を開始しました。本発表では、実際どのようにDITA/CMS導入し、導入後に何が変わったかをコスト、品質、デリバリーなどの観点から紹介します。</p> <p>ブラザー工業株式会社 マーケティング企画センター 浅井有希子</p> 
	14:00-14:10	(休憩)	
	14:10-16:10	DITA入門講義 DITAとは何か DITAによる制作、翻訳の実際 DITAの再利用のしくみとその効果	<p>DITAを初めて学ぶ方のための入門講座です。DITAについては聞いたことがある、何となく理解しているという方も、あらためてDITAが何であるのか、その制作、翻訳の実際の方法、DITAの特長である再利用のしくみと効果ついて、正しく理解することができます。</p> <p>DITAコンソーシアムジャパン会員 加藤哲義 (アートダーウィン) 小林具典 (アンテナハウス) 竹森昭一 (PFUテクニカルコミュニケーションズ)</p>
	16:10-16:20	(休憩)	
	16:20-17:00	専門部会発表 XLIFFによる多言語翻訳 ~品質向上、多言語翻訳を効率化するXLIFFの紹介~	<p>コンテンツローカリゼーション部会 森 素樹 (日本電気)</p> <p>DITAの導入にあたって期待される効果の一つに「多言語翻訳展開の効率化」があります。XLIFFは、翻訳者が利用する翻訳支援ツールのほとんどで利用可能なバイリンガルファイルで、DITAテキストを効率的に翻訳および品質管理することを可能にします。本セッションでは、翻訳関連の世界標準を出発点に、XLIFFが実現する世界をご紹介します。</p>
	17:00-17:45	出展 ブース見学	

ユーザー事例を識る日

12月8日(木)	国内ユーザー事例		
	10:30-11:20	ユルくないDITAのリユース徹底活用 ~DITAの再利用を使い尽くしたマニュアル制作~	<p>制作効率化、品質の向上、コスト削減を目標に、一度作ったトピックファイルと、とことん使いまわすための実際にブラザー工業が行った再利用の手法を紹介します。</p> <p>ブラザー工業株式会社 マーケティング企画センター 浅井有希子</p>
	11:20-13:00	(ランチ休憩)	
	13:00-13:50	広島発・品質第一主義のCMS模索事例	<p>マツダエース株式会社 情報技術サービス事業部 天満 昇</p> <p>マツダエースは約3年前からDITAによるドキュメント制作に取り組んでおります。それまでは独自設計のXMLで製作/管理~自動組版してきましたが、時代と共に変化する顧客要求や市場環境に柔軟に対応するため、CMSの再構築に取り組みました。今回はDITA形式には拘らず、ドキュメント制作の品質確保~媒体多様化への取り組みを幅広くご紹介します。</p> 
	13:50-14:30	【なんちゃってDITA】による、似て非なる取説コンテンツの乱立を防ぐ!	<p>製品の仕様や使い方を説明すべき取扱説明書は、同じ項目を説明する場合でも、説明対象のモデルや仕向けごとに、表現を変えます。これまで表現の差分を管理するための手法を取り入れてきましたが、今回のDITA (トピック化) を活用した差分管理で、どのような効果を得ようとしているかをご紹介します。</p> <p>富士ゼロックスアドバンステクノロジー株式会社 エキスパート開発統括部 ドキュメントエンジニアリング部 山野遯行俊</p>
	14:30-14:40	(休憩)	
	海外ユーザー事例		
14:40-16:10	あるARMの執筆チームがどのようにDITA導入に成功したのかの物語	<p>ARM Ltd. Partner Enablement Group Infrastructure Manager Charles Hall APAC Region, Physical Design Group Tech Comms Manager Asha Mokashi</p> <p>英国の半導体開発メーカーARM (アーム) 社のTech Commグループは2011年にDITAへ移行しました当初、DITAはチームにとり極めて異質なものであり、大きな変更点が大変多くリスクも浮上しました。リーダーのアシャは、過去との違いから課題の本質に視点を変え、メンバーに最大の問題点を気付け課題解決に導きました。DITA移行への決断から5年、ここで得たカギを皆様と共有します。</p>  	

12月9日(金)	16:10-16:55	DITA NorthAmerica2016聴講報告	DITAコンソーシアムジャパン会員 伊藤研一 (SDLジャパン)
	16:55-17:45	出展 ブース見学	

DITAの製品・サービスを識る日

12月9日(金)	13:00-13:45	DITA NorthAmerica2016聴講報告	DITAコンソーシアムジャパン会員 天野祐輔 (ヒューマンサイエンス)
	13:45-14:00	(休憩)	

DITAソリューション駅伝

DITAコンソーシアムジャパン会員企業が提供しているDITA導入支援サービス、制作翻訳サービスやDITA関連製品を1社15分のなかでポイントを絞り、次々にご紹介していきます。

12月9日(金)	14:00-15:15	パート1 DITA関連サービス	
	14:00-14:15	実績あるDITA導入支援 [DITAシェルパサービス]	14:00-14:15 アートダーウィン合同会社 加藤哲義
	14:15-14:30	グローバルで勝つ! 小さくはじめるサービス情報ソリューション	14:15-14:30 株式会社中央図研 西村尚紀
	14:30-14:45	PDF生成プラグイン開発 (PDF5MLの紹介)	14:30-14:45 アンテナハウス株式会社 小林具典
	14:45-15:00	DITAプロフェッショナルサービスの提供	14:45-15:00 YAMAGATA INTECH株式会社 道村和也
	15:00-15:15	スモールスタートからのDITA制作	15:00-15:15 PFUテクニカルコミュニケーションズ株式会社 坪田和憲
	15:15-15:30	(休憩)	
	15:30-15:45	パート2 DITA関連製品	
	15:30-15:45	[SDL Knowledge Center] 外部システムとの優れた連携	15:30-15:45 SDLジャパン株式会社 青木淳平
	15:45-16:00	クラウド対応 [DITA-CMSDante]	15:45-16:00 インフォグリーン株式会社 宮本隆弘
16:00-16:15	約款・規約・規定集作成支援システム [NEXTDarwin]	16:00-16:15 ネットソリューション株式会社 稲永 滋	
16:15-16:30	ダイナミックデリバリー ~最新のDITAコンテンツ配信方法~	16:15-16:30 IXIASOFT Technologies Inc. 村田展俊	
16:30-16:45	コンテンツ最適化ツール [Acrolinx]	16:30-16:45 アクロリンクス株式会社 村田展俊	
16:45-17:45	出展 ブース見学		